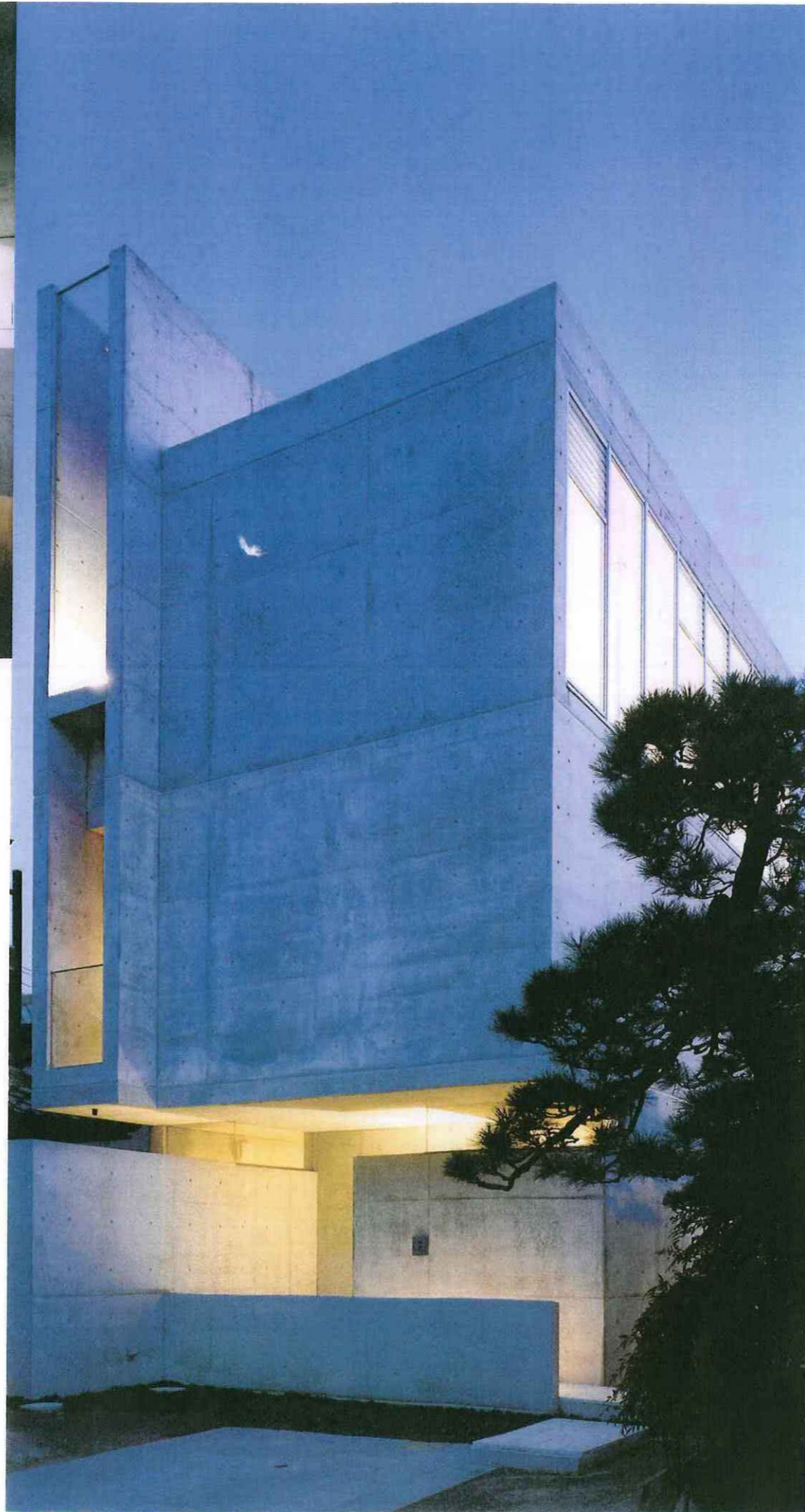


作品番号003-1



江坂の家

概要

所在地：[redacted]
構造/階：RC地上1階塔屋1F
敷地面積：107.59㎡
建築面積：56.72㎡
延面積：132.70㎡

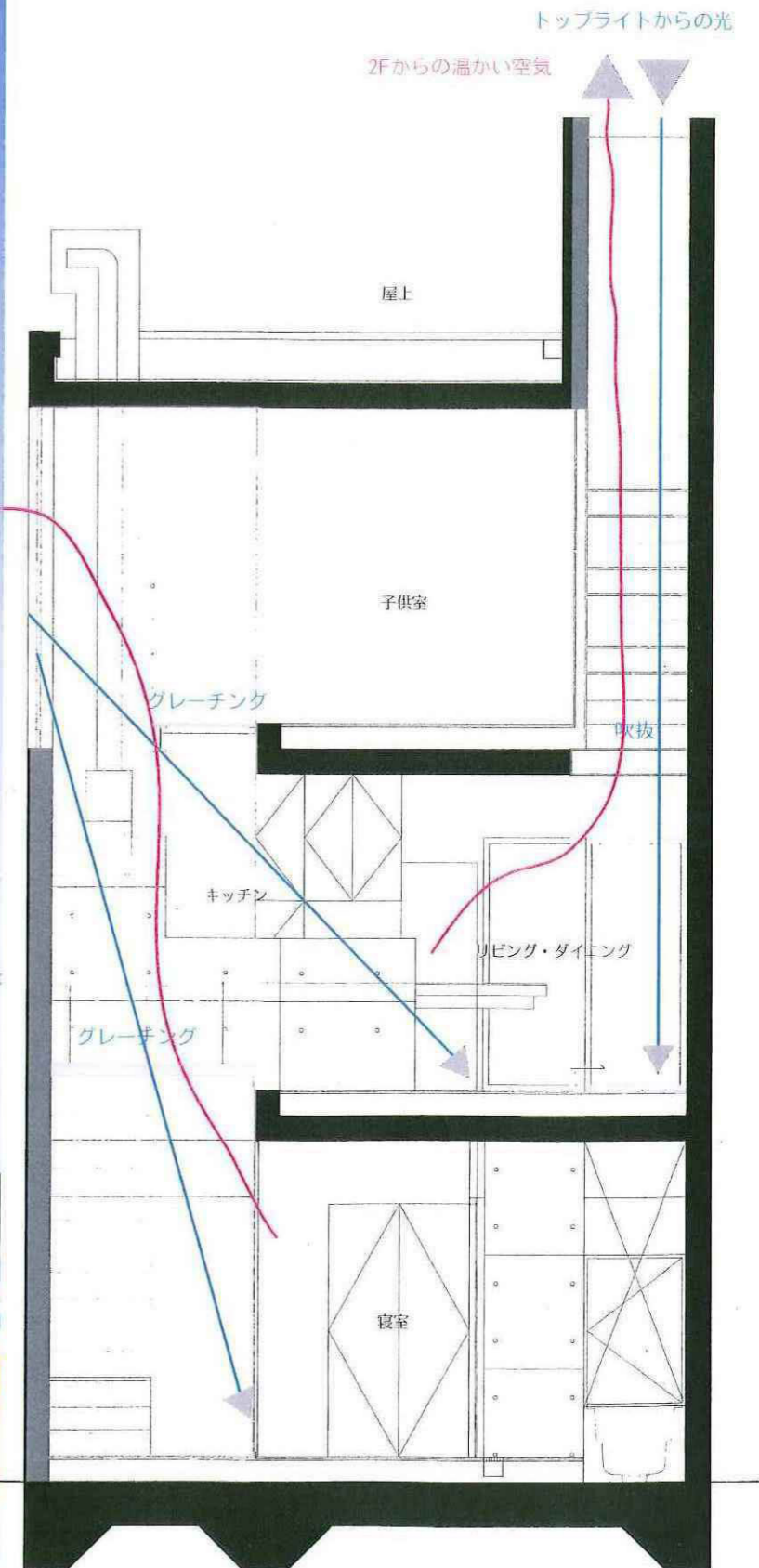
大阪の中心に程近い吹田市のこのエリアは古い民家が所々残る地域である。江坂の家も、伝統的な形態の住宅に隣接する若い夫婦と三人の男の子のための住宅である。

地面から自然と立ち上がるような住宅を目指したので1F,2Fは開口をとらず、3F階段室上に設けたハイサイドライトと、対面のトップライトからスケルトンの階段室や吹抜を通して採光と通風を確保した。

1Fからの温かい空気

ハイサイドからの光

グレーチング通り1Fまで光が届く



作品番号003-2



A



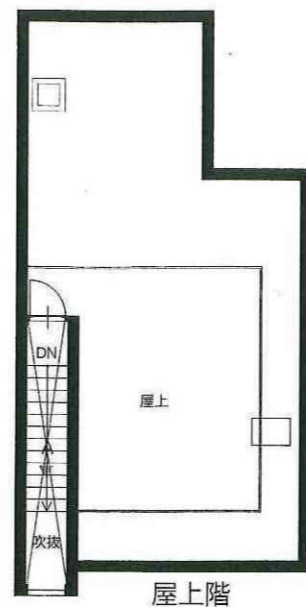
B



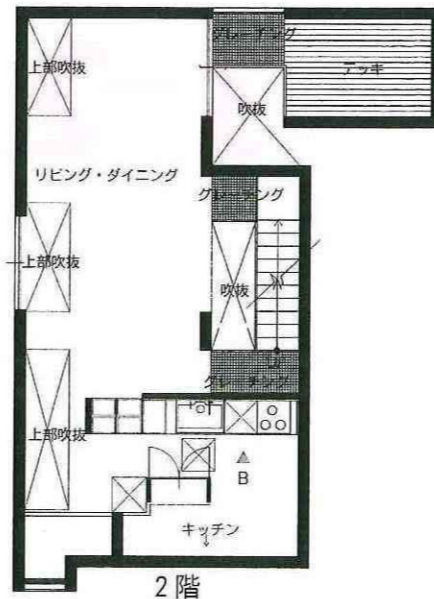
C



D



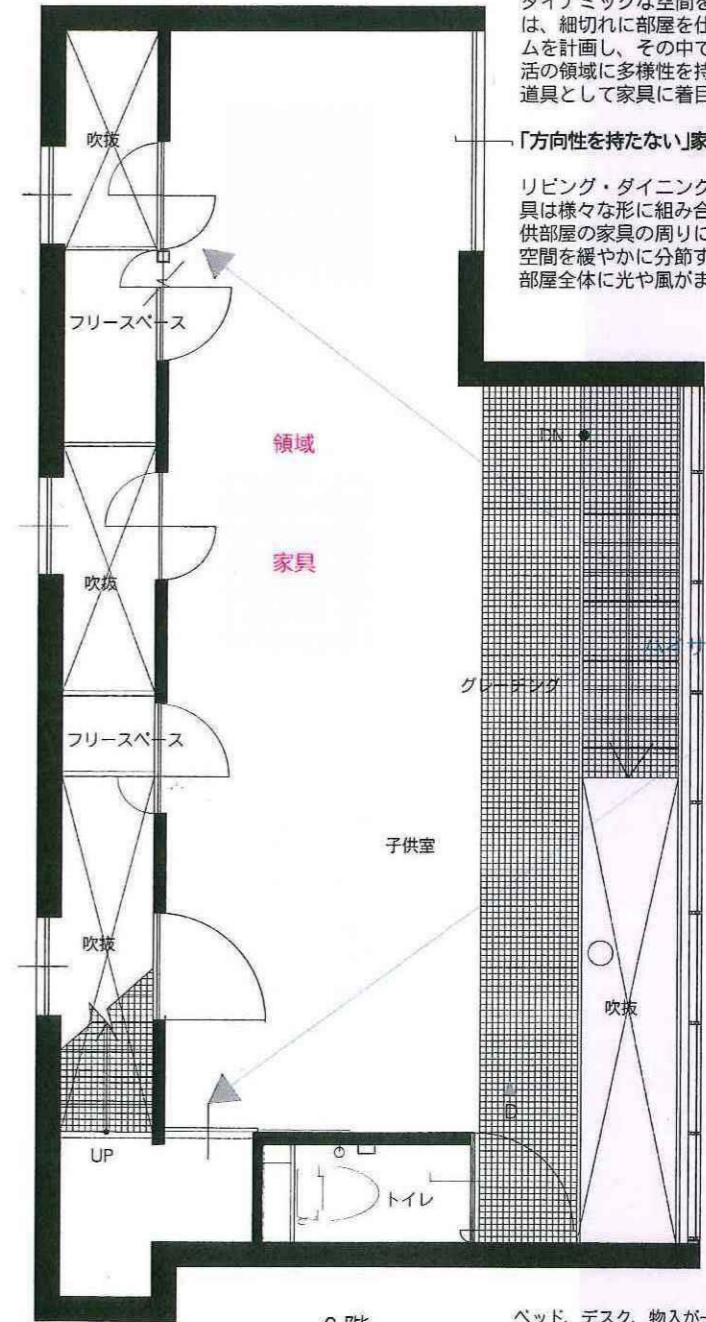
屋上階



2階



1階



3階



施主の要望であるシンプルでダイナミックな空間を実現するためには、細切れに部屋を仕切らずワンルームを計画し、その中で変化していく生活の領域に多様性を持って対応できる道具として家具に着目した。

「方向性を持たない」家具

リビング・ダイニングと子供部屋の家具は様々な形に組み合わせられる。子供部屋の家具の周りには領域が出来、空間を緩やかに分節する。それにより部屋全体に光や風がまわる。

領域
家具

ガイドからの光

子供室

ベッド、デスク、物入が一体となり、つなぎあわせると、迷路になり内部を通り抜けられる

